

サンデーサイエンス

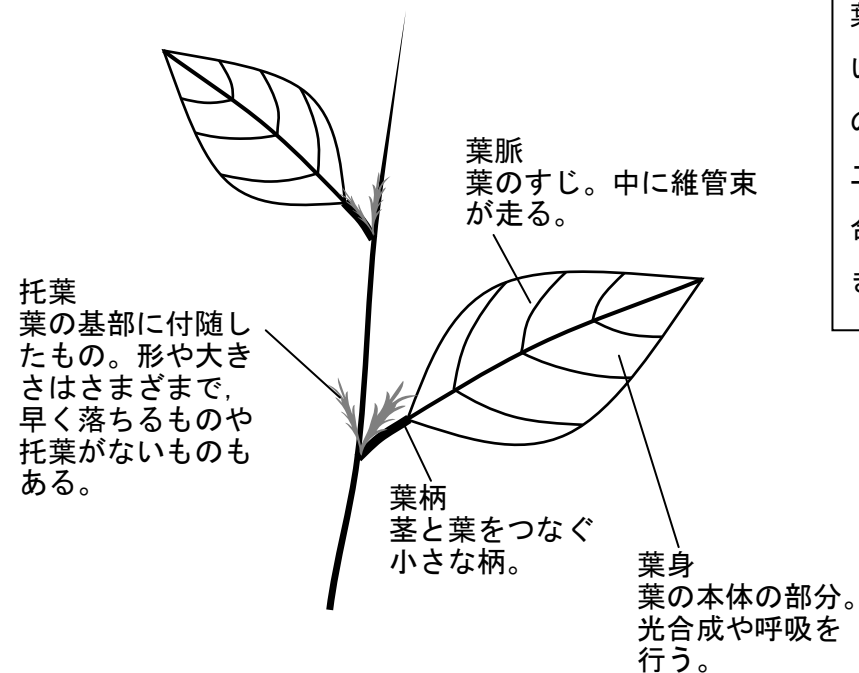
木の葉の実物図鑑をつくろう

担当：植物研究室

1 内容

野外で実際に樹木の葉を観察しながら採取することで、植物の葉の多様性やその構造について学ぶ。また、様々な形の葉を貼り付けた図鑑をつくることで継続して自分で調べながら学習しようとする意欲を喚起する。

【植物の葉の基本的なしくみ】



葉は平たくて光を受けやすい形になっている。葉は光のエネルギーを用いて水と二酸化炭素から炭水化物を合成している。このはたらきを光合成という。

2 準備物

様々な樹木の葉、木工用ボンド、画用紙（八つ切りの1/2～1/4）、新聞紙、雑巾、カードリング、ラベル

3 手順

- （1）葉のはたらきやしぐみのレクチャーを行う。
- （2）野外で樹木の葉を採集しながら、葉の形やつき方を観察する。
- （3）テーブルに新聞紙を敷き、採集した葉に木工用ボンドを塗る。



木の葉の実物図鑑 完成品

- （4）木工用ボンドを塗った葉を画用紙に貼り付け、さらに木工用ボンドをむらなく上塗りして葉を封入する。
- （5）貼り付けた植物についてのラベルを作成する。
- （6）木工用ボンドが乾いたら、葉の近くにラベルを貼る。
- （7）それぞれの葉について（3）～（6）を繰り返し、最後に画用紙に穴を空け、カードリングで束ねる。



4 注意点

- ・画用紙のサイズに合わせながら、様々な形の葉を用意する。このとき、なるべく身近な植物を選ぶと、持ち帰った後に活用しやすい図鑑ができる。
- ・葉の厚さがあまり厚くなく、なるべく平らなものを選ぶと画用紙に貼り付けやすい。
- ・木工用ボンドの取扱に注意する。衣類につかないように事前に注意するか、汚れてもよい服装で実施するとよい。

5 参考資料

写真で見る植物用語。全国農村教育協会。岩瀬徹，大野啓一。